

# 「道北連携地域政策展開方針(H25～H29)」 に係る地域重点プロジェクトの概要

## 地域のめざす姿

道北の広大な土地と恵まれた資源を生かした産業が展開し、豊かで安心して暮らせる地域

### 「主な施策の展開方向」

- 地域特性を生かした産業振興
- 多様な魅力あふれる観光の振興
- 環境と調和した、安全・安心な地域づくり
- 離島地域の振興
- 暮らしや産業を支える交通・情報ネットワークの形成

### 新・地域重点プロジェクトの推進状況

プロジェクト名	道北観光の魅力発見・発信プロジェクト	道北 1									
推進エリア	道北連携地域										
<p><b>【趣旨・目的】</b> 道北地域は雄大な自然や優れた観光資源に恵まれているが、近年の観光客数は伸び悩み、さらに8割が日帰りで半数が夏季に集中している。そこで、新たな観光資源の発掘など観光客の多様なニーズに応じた観光地づくりを進めるとともに、効果的な情報発信及びホスピタリティ向上に向けた取組を実施し、観光客の長期滞在や再訪を促進する。</p>											
<p><b>【施策展開の柱】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 広域周遊型観光の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 広域周遊型観光の推進</li> <li>○ 広域観光ルートの開発、情報発信</li> </ul> </li> <li>■ 体験・滞在型観光地づくり <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体験・滞在型観光地づくり</li> </ul> </li> <li>■ 中核都市の機能を生かした観光の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域の魅力を集積した食をテーマとしたイベント等による観光振興</li> <li>○ 旭川空港における観光等情報発信機能の充実</li> </ul> </li> <li>■ 離島観光の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 離島の魅力を生かした観光の推進</li> </ul> </li> <li>■ 「食」の魅力を生かした観光の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「食」の魅力を生かす生産者、観光事業者、ホテル・飲食店等 の連携促進</li> </ul> </li> <li>■ 受入体制の整備</li> <li>■ 情報の発信</li> </ul>											
<p><b>【主な取組状況（H25～）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「道北の観光と地場産品フェスティバル」に観光情報コーナーを設置</li> <li>・ 体験観光紹介マップ・パンフレット等によるエージェン等への情報発信</li> <li>・ 「北の恵み食べマルシェ」の関連イベントに観光情報コーナーを設置</li> <li>・ 上川地方観光連盟との連携による旭川空港での観光パンフレットの配布</li> <li>・ フードツーリズムの普及・検討や観光モデルコース造成を目的としたワークショップ等の開催</li> <li>・ 道観光振興機構との連携による広域観光人材ネットワーク形成講座の実施</li> <li>・ ユジノサハリンスク道北物産展開催実行委員会による物産展及び観光プロモーションの実施</li> <li>・ 道内外の個人観光客をターゲットとした周遊型広域イベント「そうや◇ぐるっとラリー」を宗谷観光連盟等との連携で実施</li> </ul>											
<p><b>【地域で考える“目標”】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>現状値 [H23]</th> <th>目標値 [H29]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>観光入込客数（延べ人数）</td> <td>2,047万人</td> <td>2,400万人</td> </tr> <tr> <td>外国人宿泊者数（延べ人数）</td> <td>182,725人</td> <td>265,000人</td> </tr> </tbody> </table>			項目	現状値 [H23]	目標値 [H29]	観光入込客数（延べ人数）	2,047万人	2,400万人	外国人宿泊者数（延べ人数）	182,725人	265,000人
項目	現状値 [H23]	目標値 [H29]									
観光入込客数（延べ人数）	2,047万人	2,400万人									
外国人宿泊者数（延べ人数）	182,725人	265,000人									

プロジェクト名	安心して暮らせるまちプロジェクト	道北2
推進エリア	道北連携地域	

**【趣旨・目的】**

これからの長寿社会では地域住民が自らの健康を保持・増進することが重要となる。また、自治体病院の広域的連携や救急医療体制の充実が求められている。そこで、健康で安心して暮らせる地域をめざし、住民の生活習慣の改善による健康寿命の延伸と地域間連携による医療体制の充実を図るとともに、自然災害に対する防災体制を強化する。

**【施策展開の柱と主な取組】**

- 医療体制の確立
  - 医療連携体制等の検討・確立
  - 救急搬送体制の充実
  - 助産師外来の充実
  - 医療と介護の連携の推進
  - 精神保健の推進
  - 地域医療従事者等の養成・確保
- 笑顔で元気な健康のまちづくり
  - 留萌発メタボリック対策の推進
  - 健康の駅構想の推進
  - 地域の保健医療資源と連携した留萌コホートピア構想の推進
  - 健康産業の創出
- 災害（地震、津波、大雨、火山等）に対する防災体制の強化等
  - 自主防災組織率向上への取組
  - 防災関係機関との連携強化
  - 北海道バックアップ拠点構想の推進

**【主な取組状況（H25～）】**

- ・ 「自治体病院等広域化・連携構想アクションプラン」に基づく効率的な医療提供体制に向けた取組
- ・ ドクターヘリのランデブーポイント確保のための検討
- ・ 医療・介護サービスの情報共有ネットワーク構築のための検討
- ・ 在宅医療連携ネットワーク推進協議会の設置・運営
- ・ 保健師による精神保健福祉相談や専門医によるこころの健康相談の実施
- ・ 地域におけるメンタルヘルスの推進や精神障がい者の社会参加の促進
- ・ 市町村職員に対する防災気象情報の基礎と利活用をテーマとした研修会
- ・ 防災関係機関（気象台）と共同で市町村防災担当者会議を開催
- ・ 防災関係機関と情報共有を図る連絡会議を実施
- ・ データセンター等の立地の受け皿としての拠点形成を図るため、上川の優位性をPRする資料の作成及び首都圏で開催される展示会に参加

**【地域で考える“目標”】**

項目	現状値 [H23]	目標値 [H29]
市町村国保の特定健診受診率	27.8%	60.0%
防災関係機関(市町村含む)との連携強化に向けた会議及び研修会の開催数	3回	9回
自主防災組織率	54.8%	全国平均値 (H23全国平均値75.8%)

プロジェクト名	新エネルギー導入促進プロジェクト		道北 3						
推進エリア	道北連携地域								
<p><b>【趣旨・目的】</b>  道北地域における風況条件や積雪寒冷な気候、太陽光、バイオマス、中小水力、地熱など多様な新エネルギー資源の地産地消に向けた取組をさらに進めるため、各地域の特性や導入ノウハウ、効果などについて情報共有を図るとともに、導入に向けた環境整備を進め、地域の自然や産業に根ざしたエネルギーの導入促進や利用拡大を図る。</p>									
<p><b>【施策展開の柱と主な取組】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 推進体制の整備等 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「地域省エネ・新エネ導入推進会議」をベースとした取組</li> <li>○ 新エネルギーの周知・PR</li> </ul> </li> <li>■ 自然に根ざしたエネルギーの地産地消に向けた取組 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 風力発電・太陽光発電など新エネルギーの取組の促進</li> <li>○ エコアイランド構想の推進</li> </ul> </li> <li>■ 木質バイオマスのエネルギーの利用促進 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 木質バイオマスの利用拡大</li> <li>○ 集荷体制の確立</li> </ul> </li> <li>■ 地熱発電の導入に向けた取組支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地熱発電の導入に向けた取組支援</li> </ul> </li> <li>■ 農村地域における新エネルギー（バイオマス）の導入・利用拡大の推進</li> <li>■ 中小水力発電施設の導入支援</li> </ul>									
<p><b>【主な取組状況（H25～）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各管内に「地域省エネ・新エネ導入推進会議」を設置・開催</li> <li>・ 新エネルギー事業の「芽」段階の取組を支援する地域サポート連絡会議を開催</li> <li>・ 木質バイオマスボイラー導入や発電等事業化可能性調査に対する支援</li> <li>・ 木質バイオマスの安定供給システムを確立するため、上川管内木質バイオマス安定供給協議会を開催</li> <li>・ 地域の地熱発電に関する情報共有を図るため、上川町層雲峡温泉白水沢地区等地熱研究協議会に参画</li> <li>・ 北海道バイオマス活用推進計画による取組の推進</li> <li>・ 農業水利施設等の水力エネルギーに着目した、小水力発電導入基本整備計画を策定</li> <li>・ 小水力発電施設導入に係る調査設計等の取組を支援（2団体、4施設）</li> </ul>									
<p><b>【地域で考える“目標”】</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">項 目</th> <th style="text-align: center;">現状値 [H23]</th> <th style="text-align: center;">目標値 [H29]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新エネルギーに関するサポート件数</td> <td style="text-align: center;">23件</td> <td style="text-align: center;">40件</td> </tr> </tbody> </table>				項 目	現状値 [H23]	目標値 [H29]	新エネルギーに関するサポート件数	23件	40件
項 目	現状値 [H23]	目標値 [H29]							
新エネルギーに関するサポート件数	23件	40件							

プロジェクト名	天塩川「環境・交流」リネージュプロジェクト	道北 4									
推進エリア	上川、留萌、宗谷地域（天塩川周辺地域）										
<p><b>【趣旨・目的】</b>  天塩川周辺地域は豊かな自然や美しい景観があるが、都市部から離れていることや知名度の低さから、観光客数が低い状況にある。そこで、この地域の美しい景観や川の恵みを生かした「食」、「自然豊かな住環境」等を道内外に発信することにより、「天塩川」の価値をさらに高め、天塩川周辺地域の交流人口拡大に向けた取組を推進する。</p>											
<p><b>【施策展開の柱と主な取組】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 地域連携による絆の強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 天塩川の恵みの再認識</li> <li>○ 地域連携の強化</li> </ul> </li> <li>■ 魅力創造・情報発信によるブランド力の強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 環境や地域資源を生かした地域づくり</li> <li>○ 森林のもつ多面的な機能の活用</li> <li>○ SNS等を活用した情報の発信</li> </ul> </li> </ul>											
<p><b>【主な取組状況（H25～）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 天塩川の恵みを再認識するため、天塩川フォーラムを開催</li> <li>・ 北海道暮らしフェア（東京開催）における天塩川移住相談ブースの設置</li> <li>・ 民間団体による天塩川クリーンアップ大作戦の実施</li> <li>・ 東京都杉並区イベントにおける共同出店</li> <li>・ アウトドアファン向け自然体験モニターツアーの実施</li> <li>・ 教育旅行の受入環境を整備するためのモニターツアーの実施</li> <li>・ 海外観光客受入のためのアウトバウンド対策</li> <li>・ 地域内の交流促進のための天塩川住民再発見ツアーの実施</li> <li>・ FSC（森林管理協議会）森林認証制度・認証木材製品の普及・PR</li> <li>・ HPでっし散歩、道庁ブログへの投稿</li> </ul>											
<p><b>【地域で考える“目標”】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>現状値 [H23]</th> <th>目標値 [H29]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>移住体験者滞在日数（延べ日数）</td> <td>1572日</td> <td>2000日</td> </tr> <tr> <td>観光入込客数（延べ人数）</td> <td>308万人</td> <td>320万人</td> </tr> </tbody> </table>			項目	現状値 [H23]	目標値 [H29]	移住体験者滞在日数（延べ日数）	1572日	2000日	観光入込客数（延べ人数）	308万人	320万人
項目	現状値 [H23]	目標値 [H29]									
移住体験者滞在日数（延べ日数）	1572日	2000日									
観光入込客数（延べ人数）	308万人	320万人									

プロジェクト名	上川地域が輝く食のブランド力向上プロジェクト		道北 5									
推進エリア	上川地域											
<p><b>【趣旨・目的】</b>  近年、食品の安全・安心に対する消費者の関心が高まっていることから、クリーン農業の取組や農産物の安定供給を図る取組を拡大するとともに、将来にわたって安定した生産体制を維持するための人材の確保に向けた取組、さらに、豊富な農産物の高付加価値化を図るための6次産業化の推進や食クラスターの確立に向けた取組を推進する。</p>												
<p><b>【施策展開の柱と主な取組】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 地元食材の高付加価値化 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域に根ざした担い手の育成      ○ 地域の実態に応じた生産技術指導</li> <li>○ YES!clean農産物、有機農業、農業生産工程管理（GAP）への取組拡大</li> <li>○ 農業の6次産業化の推進      ○ 地産地消運動や食育の積極的な推進</li> </ul> </li> <li>■ 商品企画及び販路拡大等の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ アンテナショップ等を活用した宣伝及び商品企画      ○ 地域食クラスター活動の推進</li> <li>○ 道内外の流通業者、飲食店等に対するPR活動の促進</li> </ul> </li> </ul>												
<p><b>【主な取組状況（H25～）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関係機関の連携による担い手育成プロジェクト会議の開催（ステップアップ研修カリキュラムの設定とフォローアップの実施）</li> <li>・ 新規就農者ステップアップ研修会の実施</li> <li>・ 上川管内産米の新米試食会及びPR資材の配布、消費者意識調査の実施</li> <li>・ かみかわ有機農業ネットワーク会議及び現地検討会の開催</li> <li>・ 管内企業のマーケティング活動を支援するため、道のアンテナショップ「北海道どさんこプラザ」におけるテスト販売等を実施</li> <li>・ 食材の発掘・磨き上げのため、民間企業との連携による商談会を開催</li> <li>・ 地域の発展的なプロジェクト案件を支援するため、食クラスターかみかわコーディネートチーム会議を適宜開催</li> <li>・ 「かみかわ・ペポカボチャ・プロジェクト」の推進に向け、安定生産体制の確立や保管条件の検討、ブランド化に向けた戦略の構築等を図る</li> </ul>												
<p><b>【地域で考える“目標”】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>現状値 [H23]</th> <th>目標値 [H29]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上川管内に就農する新規就農者数</td> <td>87人</td> <td>120人</td> </tr> <tr> <td>アンテナショップ（北海道どさんこプラザ）におけるテスト販売応募件数（企業数）</td> <td>17件</td> <td>30件</td> </tr> </tbody> </table>				項 目	現状値 [H23]	目標値 [H29]	上川管内に就農する新規就農者数	87人	120人	アンテナショップ（北海道どさんこプラザ）におけるテスト販売応募件数（企業数）	17件	30件
項 目	現状値 [H23]	目標値 [H29]										
上川管内に就農する新規就農者数	87人	120人										
アンテナショップ（北海道どさんこプラザ）におけるテスト販売応募件数（企業数）	17件	30件										

プロジェクト名	大雪山魅力再生プロジェクト		道北 6						
推進エリア	上川地域								
<p><b>【趣旨・目的】</b>  近年、登山ブームの中でのオーバーユースにより、大雪山においても登山道の荒廃や山岳トイレ問題、これらに端を発する高山植物の減少、さらに公園施設の維持管理などが課題となっている。そこで、貴重で豊かな自然を次世代に引き継ぐため、その保全や活用に努めるとともに、大雪山の魅力やその恵みを生かした地域づくりを推進する。</p>									
<p><b>【施策展開の柱と主な取組】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 魅力的な自然環境の保全・活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大雪山の優れた自然環境の保全</li> <li>○ 公園施設の適切な管理運営方策の検討促進</li> <li>○ 百年前の森林再生をめざす森林づくり</li> </ul> </li> <li>■ 大雪山の魅力や恵みを生かした地域づくりの推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各種イベント等の開催</li> </ul> </li> </ul>									
<p><b>【主な取組状況（H25～）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大雪山の自然環境保全をテーマにした講演会（札幌市）の開催</li> <li>・ 地域関係団体と連携した高山植物盗掘防止のための監視パトロールの実施</li> <li>・ 公園施設の適切な維持管理のための協議</li> <li>・ 地域材を利用することにより森林整備が促進されるよう、民間事業者等との連携による針葉樹インテリア家具の試作及び使用モニター調査を実施</li> <li>・ 地域イメージのPR企画として、プロモーション映像の放映及びパネル展を開催（札幌市）</li> <li>・ 大雪カムイミントラ・ホールコンサートの開催</li> <li>・ 大雪カムイミントラ事業実行委員会によるスタンプラリーの実施</li> </ul>									
<p><b>【地域で考える“目標”】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>現状値 [H23]</th> <th>目標値 [H29]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大雪山の環境保全に係る啓発イベント実施回数</td> <td>0回</td> <td>6回</td> </tr> </tbody> </table>				項 目	現状値 [H23]	目標値 [H29]	大雪山の環境保全に係る啓発イベント実施回数	0回	6回
項 目	現状値 [H23]	目標値 [H29]							
大雪山の環境保全に係る啓発イベント実施回数	0回	6回							

プロジェクト名	るもい発「食・健康物語」プロジェクト	道北 7
推進エリア	留萌地域	

**【趣旨・目的】**

安全安心を基本とする農業や栽培漁業の推進等を土台に、農水産物の付加価値の向上、地域資源を活用した商品開発、道内外への販路拡大などにより「食」の地域ブランド化を促進し、「食」と「健康」をテーマとした地域づくりに取り組む。

**【施策展開の柱と主な取組】**

- 健康で豊かな食生活を支える農業の振興
  - 生産性の高い農業の推進
  - 環境と調和した農業の展開
  - 消費者との結び付きの強化
  - 多様な担い手の育成・確保
  - 地域特性を生かした6次産業化などの推進
- 健康産業の創出
  - 食と健康をつなぐ食療の推進
  - 留萌の地域資源を生かした健康サービスの推進
  - 海域の特性に応じた栽培漁業の推進
  - 漁業の担い手確保・育成
  - 水産資源の育成環境の保全及び創造
- 日本海の豊かな恵みを生かす水産業の振興
  - 水産資源の適切な管理及び秩序ある利用
  - 海域の特性に応じた栽培漁業の推進
- 鳥獣害防止対策の推進
  - エゾシカ対策等の推進
  - トド等の海獣による漁業被害対策
- 地域ブランド創出に向けた競争力の強化
  - 地域ブランドの創造などによる積極的な販路拡大の促進
  - 「食」の魅力向上
- 地産地消の推進
  - 生産者と消費者の結び付きの強化
  - 地元食材を活用した商品・メニュー開発
- 情報発信力の強化
  - 地域住民による情報発信の取組促進
  - 管外での留萌のPR

**【主な取組状況（H25～）】**

- ・ 留萌独自生産小麦で生産～加工・消費～販売までの地域内での一連の取り組みによる「麦チエン」の推進
- ・ 担い手の育成・確保に関する課題について、管内で情報共有と広域的な受入体制の構築を検討する取組を実施
- ・ 環境保全型農業への取組農業者への支援
- ・ 研究会を軸にした浜の薬「ハマボウフウ」の資源復活作戦と「浜辺の有効活用」によるコミュニティビジネス創出支援事業を展開
- ・ 留萌合同庁舎内に管内の市町村等が地元の食材を用いて製造した商品及び地元で生産された農水産物の展示販売の場を設け、管内の食品や食材の周知を図ることを目的とした「るもい地産地消推進事業」の実施
- ・ エディブルフラワー（食用花）の生産体制強化と販売手法の検討
- ・ 観光物産展等を活用し旭川・札幌を重点的に、るもいの「食」と「観光」を一体化してPRし、身近な留萌地域への誘客を図る、「ヨ～ス来い！るもい～オロロンライン「食と観光」魅力再発見事業」の実施

**【地域で考える“目標”】**

項目	現状値 [H23]	目標値 [H29]
うるち米の低たんぱく米生産比率	68%	80%
アンテナショップ（北海道どさんこプラザ）におけるテスト販売採用商品数	10品	20品

プロジェクト名	留萌の環境を守り育てるプロジェクト		道北 8									
推進エリア	留萌地域											
<p><b>【趣旨・目的】</b>  環境保全活動の推進、海鳥保護やエゾシカ等の対策、また、森づくり、間伐材の有効活用などに取り組み、自然環境の保全・再生、資源の有効利用の促進等を図る。</p>												
<p><b>【施策展開の柱と主な取組】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 自然環境の持続的利用と保全、再生の促進 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 環境教育の推進      ○ 環境保全活動の推進      ○ 自然にやさしいツーリズムの推進</li> <li>○ 海鳥の保護活動      ○ エコアイランド構想の推進</li> <li>○ エゾシカ対策等の推進</li> </ul> </li> <li>■ 森林の多面的機能を持続的に発揮する森づくりの推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 適正な管理に基づく森林整備の推進      ○ 間伐材の有効活用の推進</li> <li>○ 地域材の販路拡大の推進      ○ 「木育」の推進</li> </ul> </li> </ul>												
<p><b>【主な取組状況（H25～）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自然教室の開催</li> <li>・ 増毛山道のPR…増毛山道体験トレッキング、道の広報媒体の活用等</li> <li>・ 小型風力発電機の試験導入等を実施</li> <li>・ エゾシカ対策連絡協議会の開催</li> <li>・ 造林・間伐の実施</li> <li>・ 市町村緑化団体等と連携した植樹活動等の推進</li> <li>・ 緑化団体、行政等で設立したネットワーク組織の自立化の促進</li> <li>・ 地域の関係機関等と連携し、「留萌材の販路拡大のための実行計画」の取組を推進</li> <li>・ 「木育マイスター」を講師とした学習会や講演会を開催</li> </ul>												
<p><b>【地域で考える“目標”】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>現状値 [H23]</th> <th>目標値 [H29]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自然公園利用者数</td> <td>67千人</td> <td>67千人</td> </tr> <tr> <td>人工林（カラマツを除く）の素材生産量</td> <td>(H22) 37,000m<sup>3</sup></td> <td>45,000m<sup>3</sup></td> </tr> </tbody> </table>				項 目	現状値 [H23]	目標値 [H29]	自然公園利用者数	67千人	67千人	人工林（カラマツを除く）の素材生産量	(H22) 37,000m <sup>3</sup>	45,000m <sup>3</sup>
項 目	現状値 [H23]	目標値 [H29]										
自然公園利用者数	67千人	67千人										
人工林（カラマツを除く）の素材生産量	(H22) 37,000m <sup>3</sup>	45,000m <sup>3</sup>										

プロジェクト名	留萌港再生プロジェクト		道北 9									
推進エリア	留萌地域											
<p><b>【趣旨・目的】</b>  留萌港の背後圏内の行政・経済界等の連携を強化しながら、技術・知識・人・モノのつながりをコーディネートし、物流システムを構築しながら、雇用の創出、消費拡大、地域経済の活性化を目指す。地域全体で、物流の根幹となるものづくり産業の育成強化、企業誘致を促進するため、地域の重要資源である港を生かした地域の再生を図る。</p>												
<p><b>【施策展開の柱と主な取組】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 海外との交流推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 極東との技術交流や経済交流などの推進</li> </ul> </li> <li>■ 港の有効活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 航路開設や背後圏の経済活性化の促進</li> <li>○ 親水機能の充実</li> </ul> </li> </ul>												
<p><b>【主な取組状況（H25～）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中国東北部との経済交流促進に向けた検討</li> <li>・ 「留萌港の利活用に関する連絡会議」における情報共有</li> <li>・ 港を活用した地域材供給体制の検討</li> <li>・ つまいよ！るもい市の実施</li> <li>・ 港湾緑地用地の有効活用の検討・実施</li> </ul>												
<p><b>【地域で考える“目標”】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>現状値 [H23]</th> <th>目標値 [H29]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>留萌港取扱貨物量（年間）</td> <td>115.5万 t</td> <td>124.0万 t</td> </tr> <tr> <td>留萌港に魅力や親しみを感じる市民の割合</td> <td>0.168</td> <td>0.35</td> </tr> </tbody> </table>				項 目	現状値 [H23]	目標値 [H29]	留萌港取扱貨物量（年間）	115.5万 t	124.0万 t	留萌港に魅力や親しみを感じる市民の割合	0.168	0.35
項 目	現状値 [H23]	目標値 [H29]										
留萌港取扱貨物量（年間）	115.5万 t	124.0万 t										
留萌港に魅力や親しみを感じる市民の割合	0.168	0.35										

プロジェクト名	日本海元気づくりプロジェクト		道北10									
推進エリア	留萌地域											
<p><b>【趣旨・目的】</b> 日本海の地域資源を生かしたまちづくり、産業づくり、人材誘致・交流を進め、活力の低下している地域の再生を目指す。</p>												
<p><b>【施策展開の柱と主な取組】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ まちなか賑わいの復活 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 特色あるイベント等の実施</li> <li>○ 地域づくりを担う人材の育成</li> </ul> </li> <li>■ ものづくり産業の再生と新産業の芽づくり <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 技術力の向上や商品開発の促進</li> <li>○ 建設業の経営力の強化への支援</li> </ul> </li> <li>■ 移住・交流 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 移住体験等の促進</li> <li>○ 地域の特色等を生かした交流促進</li> <li>○ 集落対策の推進</li> </ul> </li> </ul>												
<p><b>【主な取組状況（H25～）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 冬を楽しむイベント「オロロン・スノーパラダイス」の開催</li> <li>・ 留萌信用金庫との包括連携協定に基づき、「留萌・元気づくりセミナー」を開催するとともに、「元気づくり助成金」によりものづくり活動を支援</li> <li>・ 「北海道農商工連携ファンド事業」を活用して、農林漁業者と中小企業者等の互いの経営資源を活用した農商工連携による新商品・新サービスの開発等の取組を支援</li> </ul>												
<p><b>【地域で考える“目標”】</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">項 目</th> <th style="text-align: center;">現状値 [H23]</th> <th style="text-align: center;">目標値 [H29]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域建設業サポートセンターの相談件数</td> <td style="text-align: center;">2件</td> <td style="text-align: center;">10件</td> </tr> <tr> <td>移住体験者数</td> <td style="text-align: center;">2人</td> <td style="text-align: center;">28人</td> </tr> </tbody> </table>				項 目	現状値 [H23]	目標値 [H29]	地域建設業サポートセンターの相談件数	2件	10件	移住体験者数	2人	28人
項 目	現状値 [H23]	目標値 [H29]										
地域建設業サポートセンターの相談件数	2件	10件										
移住体験者数	2人	28人										

プロジェクト名	「宗谷の食」ブランド力向上プロジェクト	道北11
推進エリア	宗谷地域	

**【趣旨・目的】**

食をテーマにしたイベントの開催など地域ブランド創出に向けた取組を進め、素材の持つ可能性をさらに引き出すなど商品の高付加価値化を図り、宗谷のブランド化を促進する。

**【施策展開の柱と主な取組】**

- 宗谷産農水産物の付加価値向上（宗谷農水産物のブランド化）
  - オオナゴなど、地域資源を活用した特色ある食づくり
  - 信頼される食づくり
- 地域特性を生かした宗谷酪農の推進
  - 豊富な草地資源を背景とした放牧の推進
  - 良質な自給飼料の生産拡大と生産性の向上
- 活力ある宗谷漁業の構築
  - 栽培漁業の推進
  - 水産資源の生育環境の保全及び創造
- 農林水産業の担い手対策の推進
  - 担い手の育成確保や女性・高齢者の活動促進

**【主な取組状況（H25～）】**

- ・ 地域の食クラスター活動を牽引するキーパーソンを育成するため、「フード塾」として研修等を実施
- ・ 地域特性を活かした農作物栽培技術の確立及び安心・安全・新鮮食材を町内給食施設等へ提供する地域内システムの構築を目的に設立した中頓別町給食プロジェクトの推進（馬鈴しょ栽培マニュアルの作成）
- ・ 自給飼料の生産性向上に向けて、良質粗飼料やサイレージ用トウモロコシの安定栽培に向けた検討
- ・ ウニを対象とした増殖場、カレイ、ホッケなどを対象とした魚礁漁場を造成
- ・ 農業の担い手確保や育成に関する方策を検討するため、市町村、農協などの関係機関
- ・ 団地で構成する「宗谷管内地域担い手推進会議」を開催
- ・ 新規就農者の受入促進に向けて、新規就農希望者や受入体制の情報を広域的に共有する仕組みづくりについて検討

**【地域で考える“目標”】**

項 目	現状値 [H23]	目標値 [H29]
食クラスタープロジェクト数	11件	16件
営農支援組織数	26組織	28組織
宗谷管内の磯根漁業の水揚げ数量（なまこ、つに、こんぶ、その他海藻のみ）	2,152t	2,710t
離島新規漁業就業者数（島内出身者含む）	10人	14人
新規就農者数（年間）	18人	20人

プロジェクト名	人と自然が共生する地・宗谷創造プロジェクト	道北12												
推進エリア	宗谷地域													
<p><b>【趣旨・目的】</b>  サロベツ原野における湿原面積の減少等に対応するため、各種の普及啓発活動を通じて、環境に配慮した地域づくりを進めるとともに、自然再生事業や森林整備を推進し、人と自然が共生する地域づくりを進める。また、移住・定住の取組を推進し、交流人口の増加に向けた取組を促進するとともに、野生鳥獣(海獣)と農林水産業との共生を図る取組を進める。</p>														
<p><b>【施策展開の柱と主な取組】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 環境に配慮した地域づくり <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 環境に配慮する人づくり</li> <li>○ 資源の循環的利用の促進</li> </ul> </li> <li>■ 自然環境の持続的利用と保全、再生の促進 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自然とのふれあいの推進</li> <li>○ 自然環境の保全、再生の促進</li> <li>○ 地域特性に応じた森林づくり</li> </ul> </li> <li>■ エゾシカ等鳥獣(海獣)対策の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ エゾシカ等鳥獣対策の推進</li> <li>○ トド・アザラシ等海獣類と共存し、環境と調和した水産業の展開</li> </ul> </li> <li>■ 移住・定住の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 移住促進施策の推進</li> <li>○ 集落対策の推進</li> </ul> </li> </ul>														
<p><b>【主な取組状況（H25～）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境美化活動等への賛同者を募るサポーター宣言や、振興局職員が地域の清掃活動に参加する清掃キャラバン等の「宗谷クリーンアップ運動」を実施</li> <li>・ 「宗谷地域の間伐材等の利用促進に関する連絡会議」を開催</li> <li>・ 公共事業等を活用し、無立木地などへの造林や間伐などの森林整備の実施や木材生産の効率化に必要な林内路網を整備</li> <li>・ トドによる漁業被害を防止するため、漁業協同組合等が実施する駆除や追い払いへの支援を実施</li> <li>・ 首都圏及び札幌市内における“移住”をテーマとしたPRの実施</li> <li>・ 移住施策に関わる情報収集及び意見交換</li> <li>・ ポータルサイトを活用した宗谷地域の情報発信</li> </ul>														
<p><b>【地域で考える“目標”】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>現状値 [H23]</th> <th>目標値 [H29]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自然公園利用者数</td> <td>1 1 5 万人</td> <td>1 2 0 万人</td> </tr> <tr> <td>エゾシカの捕獲数</td> <td>3, 5 4 2 頭</td> <td>4, 3 0 0 頭</td> </tr> <tr> <td>移住体験者数</td> <td>2 8 名</td> <td>6 8 名</td> </tr> </tbody> </table>			項 目	現状値 [H23]	目標値 [H29]	自然公園利用者数	1 1 5 万人	1 2 0 万人	エゾシカの捕獲数	3, 5 4 2 頭	4, 3 0 0 頭	移住体験者数	2 8 名	6 8 名
項 目	現状値 [H23]	目標値 [H29]												
自然公園利用者数	1 1 5 万人	1 2 0 万人												
エゾシカの捕獲数	3, 5 4 2 頭	4, 3 0 0 頭												
移住体験者数	2 8 名	6 8 名												

プロジェクト名	サハリン交流推進プロジェクト		道北13						
推進エリア	宗谷地域								
<p><b>【趣旨・目的】</b>          今まで行ってきた多種多様なサハリン交流を推進するとともに、観光客の誘致や輸出入などの経済交流などについて、民間企業と行政などが連携し、地域一体となって交流を推進する。</p>									
<p><b>【施策展開の柱と主な取組】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 交流環境の整備           <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 交流環境整備</li> </ul> </li> <li>■ 友好交流の推進           <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 人材育成      ○ 相互理解の促進      ○ 人的ネットワークの強化</li> </ul> </li> <li>■ 経済交流の推進           <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 観光の推進      ○ 社会基盤整備等への参入推進      ○ 貿易の推進</li> </ul> </li> </ul>									
<p><b>【主な取組状況（H25～）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日ロフェリー航路PRの実施（新聞広告、広報赤れんが）</li> <li>・ サハリン事務所等を活用した現地情報の収集・提供</li> <li>・ 平成24年度「サハリン観光に関する情報発信事業」において作成したガイドブックの各関係方面への配布</li> <li>・ ユジノサハリンスク道北物産展におけるニーズ調査の実施</li> <li>・ 日ロフェリーを活用した物流拡大推進事業の実施</li> </ul>									
<p><b>【地域で考える“目標”】</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">項 目</th> <th style="text-align: center;">現状値 [H23]</th> <th style="text-align: center;">目標値 [H29]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日ロフェリー定期航路サハリン航路利用旅客数</td> <td style="text-align: center;">3, 629人</td> <td style="text-align: center;">5, 100人</td> </tr> </tbody> </table>				項 目	現状値 [H23]	目標値 [H29]	日ロフェリー定期航路サハリン航路利用旅客数	3, 629人	5, 100人
項 目	現状値 [H23]	目標値 [H29]							
日ロフェリー定期航路サハリン航路利用旅客数	3, 629人	5, 100人							